

## 県民環境部指定管理候補者の選定結果について

## 1 申請団体名及び選定結果

施設名	申請団体名	選定結果
徳島県立人権教育啓発推進センター	特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット	指定管理候補者
	特定非営利活動法人 人権教育とくしま	—
	特定非営利活動法人 ヒューマンライツ文化・福祉ネットワーク	—

## （選定理由）

特定非営利活動法人徳島ヒューマンネットは、役員・会員に人権教育啓発に関わりの深い者が在籍しており、それぞれが持つ能力・知識を生かした、要求水準を十分に満たす具体的な事業提案がされている。また、次世代を担う若者の人権意識の高揚を図るため、学生や親子向けの事業、子どもと高齢者や障がい者が同じ場で学べるような事業が提案されており、チャレンジ意欲を持った効果的な人権教育啓発が期待できる。

さらに、センターの設置目的及び事業の中立性の確保について適切に把握するとともに、収支面においても、適切な管理運営に基づく計画が提案されており、他の申請者と比較して指定管理料は低額である。その他、地域や他団体との積極的な交流・連携についても期待できる。

以上のことから、選定委員会における審査において、選定基準に基づく評価項目のすべてにおいて高く評価され、指定管理候補者として適当な団体であると判断した。

施設名	申請団体名	選定結果
徳島県立阿波十郎兵衛屋敷	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷管理運営業務参加グループ	指定管理候補者

## （選定理由）

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷管理運営業務参加グループは、明確な管理運営方針を有するとともに、当施設の指定管理を行う中で培われた経験やグループ構成員それぞれが持つノウハウ・ネットワーク等を生かした事業提案をしており、利用者ニーズを踏まえた適正な業務執行が期待できる。特に、選定に当たって重視した「文化・観光事業の企画・実施」において、徳島県が全国に誇る阿波人形浄瑠璃の振興の中核拠点であることを認識し、多彩な事業展開や利用者サービスの向上を図るなど、募集条件を十分に満たす具体的な提案が行われた。

また、経費面においても、エコオフィス活動の徹底や外部資金の積極的な活用による事業の充実など、利用者サービスの充実と経費削減の両立を図る具体的な方策が検討されている。

以上のことから、選定委員会における審査において、選定基準に基づく評価項目のすべてにおいて適切であると認められており、指定管理者として適切な団体であると判断した。

## 2 選定委員会委員名簿

県民環境部の選定委員については、人権、文化とそれぞれ分野が異なることから、各施設共通委員4名と、施設ごとの委員1名、計5名の委員構成とした。

### (1) 共通委員

役 職	氏 名
株式会社あわわ会長	坂田 千代子
日本労働組合総連合会徳島県連合会副事務局長	板東 喜代子
税理士	榎本 久実
県民環境部副部長	手塚 俊明

### (2) 施設ごとの委員

#### ①徳島県立人権教育啓発推進センター

役 職	氏 名
徳島文理大学短期大学部教授	阿部 頼孝

#### ②徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

役 職	氏 名
公益財団法人徳島市文化振興公社芸術監督	浅香 寿穂

## 3 選定の経緯

平成28年 7月21日	第1回選定委員会 (募集要項の承認, 審査基準及び選定要領の決定)
27日	募集開始(募集要項の公表)
8月17日~26日	現地説明会
9月16日	募集要項配布終了
16日~30日	申請書類受付
10月 7日~13日	各選定委員が申請書類を事前分析
14日	第2回選定委員会 (書類審査, 提案説明, 質疑, 指定管理候補者の選定)
10月25日	選定委員会からの選定結果報告書受理

## 4 選定委員会における選定結果

施 設 名	申 請 団 体 名	総合得点
徳島県立人権教育啓発推進センター	特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット	94.25
	A団体	62.10
	B団体	60.35
徳島県立阿波十郎兵衛屋敷	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷管理運営業務参加グループ	適

## 5 指定管理候補者の提案内容

施設名：徳島県立人権教育啓発推進センター

区 分	特定非営利活動法人徳島ヒューマンネットの 主たる提案内容						
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県民一人ひとりの人権が互いに尊重され、擁護される社会の実現を目指した運営</li> <li>○中立性を確保するため、広く理解と共感が得られるような事業を実施</li> <li>○実施事業について、絶えず改善の視点を持ち、新たな人権課題等が発生した場合は、自主事業により早急に対応</li> <li>○障がい者の方へ様々な合理的配慮の提供</li> <li>○利用者ニーズの把握・分析を行い、事業内容に反映</li> </ul>						
効率的な管理運営 (経済性の追求)	<p>○基準額(指定管理料)との対比 (税込)</p> <table border="1" data-bbox="667 792 1310 943"> <thead> <tr> <th></th> <th>基準額</th> <th>提案額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29 ～ H33</td> <td>68,200,000円/年</td> <td>63,800,000円/年</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の相互補完体制を整え、必要最小限の職員体制で効率的に業務を遂行</li> <li>○物品の購入等にあたって、取引業者の公正な選定を行い、競争性の導入を徹底</li> <li>○事業実施の周知方法として、希望者にメール配信を取り入れ、郵送代金の削減及び事務を軽減</li> <li>○イベント開催時、賛同ボランティアに参加・協力を依頼</li> </ul>		基準額	提案額	H29 ～ H33	68,200,000円/年	63,800,000円/年
	基準額	提案額					
H29 ～ H33	68,200,000円/年	63,800,000円/年					
安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育啓発の知識、経験、意欲のある職員の配置</li> <li>○研修会への参加による職員の能力育成</li> <li>○外部委員による「運営検討会議」を設置し、意見を事業内容に反映</li> <li>○情報管理や災害対応について「対応マニュアル」を整備し、マニュアルに基づいた研修・訓練の実施</li> </ul>						
その他地域との連携や地域貢献度など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の県内在住者雇用、委託業務の地元企業への優先発注</li> <li>○関係機関・団体との積極的な交流・連携</li> <li>○「多目的活動室」を他の人権団体の活動の場として提供、また、センターと団体との連携交流を図る場として使用</li> </ul>						

施設名：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

区 分	徳島県立阿波十郎兵衛屋敷管理運営業務参加グループの主たる提案内容						
<p>県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○阿波人形浄瑠璃振興の中核拠点施設としての機能の発揮</li> <li>○適正な個人情報の保護や緊急時の速やかな対応の確立と そのための安全管理教育の実施</li> <li>○省エネルギー，省資源，廃棄物の発生抑制やリサイクルの推進</li> <li>○多様な利用者ニーズの把握と対応の検討</li> <li>○阿波人形浄瑠璃の魅力の創造・発信及び教育普及とともに，文化・観光振興に資する情報の収集，発信</li> </ul>						
<p>効率的な管理運営 (経済性の追求)</p>	<p>○基準額(指定管理料)との対比 (税込)</p> <table border="1" data-bbox="662 728 1321 873"> <thead> <tr> <th></th> <th>基準額</th> <th>提案額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29 ～ H33</td> <td>28,668,241円/年</td> <td>28,668,000円/年</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○適正な人員配置と業務マニュアルに基づく的確な施設の維持管理の実施</li> <li>○施設・設備の維持管理業務の可能な業務について直営実施による経費の節減</li> <li>○事務事業の効率化を図り，変則交代勤務制など適材適所に人材を配置することによる人件費の抑制</li> <li>○事業実施のための各種助成金を積極的に活用</li> </ul>		基準額	提案額	H29 ～ H33	28,668,241円/年	28,668,000円/年
	基準額	提案額					
H29 ～ H33	28,668,241円/年	28,668,000円/年					
<p>安定した管理のための人的・物的経営基盤の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化事業・文化施設運営の経験や人形浄瑠璃に関する専門知識を有する職員の登用</li> <li>○研修，講習会への参加等による職員の資質の向上</li> <li>○施設の維持管理や繁忙期対応のための人材の適宜配置</li> <li>○利用者アンケート調査の実施による利用者ニーズの把握や職員会議(毎月開催)を活用した分析の実施</li> <li>○業務目標の設定，達成状況の分析による自己評価の実施</li> </ul>						
<p>地域への貢献及び地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の地元雇用及び委託業務の地元企業への優先発注</li> <li>○県内外の人形浄瑠璃関係施設・団体，農村舞台保存会，学校，県内観光施設などとの連携による，地域に根ざした文化・観光振興</li> <li>○ホテル・旅館，観光関連団体，自治体，民間企業などとの連携による PR</li> </ul>						